

## 令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

### アカムツ日本海系群

対象水域	日本海（青森～山口）	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター、山口県水産研究センター
------	------------	-------	--

#### (1) 調査の概要

- ・機構は生物情報の収集、底びき網漁獲統計資料の解析、各県漁獲情報の集約を実施  
日本海北部において、資源調査（日本海北部底魚資源調査）と標本船調査（体制構築含む）を実施
- ・各県は漁獲統計の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- ・青森県では主要港（日本海側）の1999年以降の年間漁獲量と2019年以降の漁法別月別漁獲量を収集済み
  - ・秋田県では2001年以降の年間漁獲量と2019年以降の漁法別月別漁獲量を収集済み
  - ・山形県では1990年以降の年間漁獲量と2019年以降の漁法別月別漁獲量を収集済み
  - ・新潟県では2006年以降の年間漁獲量と2019年以降の漁法別月別漁獲量を収集済み
  - ・富山県では2007年以降の年間漁獲量と2019年以降の漁法別月別漁獲量を収集済み
  - ・石川県では2000年以降の主要10港の年間漁獲量と2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・福井県では2000年以降の年間漁獲量と2019年以降の漁法別月別漁獲量を収集済み
  - ・京都府では1990年以降の年間漁獲量と2019年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・兵庫県では2010年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・鳥取県では1975年以降の月別漁獲量を収集済み（\*1）
  - ・島根県では1998年以降の年間漁獲量と2019年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・山口県では2000年以降の年間漁獲量と2019年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・機構は日本海北部における資源量調査を2016年以降実施、採集数が少ないことを考慮し内容を精査中
- \*1 沖合底びき網による漁獲量の集計

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書 ([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/trends\\_2020\\_02.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/trends_2020_02.pdf)、2023年11月20日閲覧) を参照
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和2年度に作成および公表済み  
([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/trends\\_2020\\_02.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/trends_2020_02.pdf)、2023年11月20日閲覧)
- ・日本海北部による資源調査および標本船調査でのデータ蓄積がさらに必要
- ・日本海北部と日本海西部の個体群の遺伝学的関係を確認することが重要